

『つむぐ』

元気を元気に 穴水町高祭開催 Summer Festival



能登半島地震は終わっていません。訓練は続いています。穴水町の人口はとうとう7000人を切りました。でも、8月3/日に開催された穴水高校の文化祭「高祭」は若い力を爆発させ、穴水町の復興に向けて頑張る力を与えてくれました。全国には能登半島地震にちゃんと目を向け、手を差し伸べてくれる人たちがいると思います。そんな人たちの力を借りなければ、穴水町でも前に進みませんか!? 私たちは井筒にいつかはい頑張ってきました。くじけずにいきたいと思います。(蹟は古道裡に提借す。)



シンガーソングライター
白井貴子さん来校
今年の穴高祭にはシンガーソングライターの白井貴子さんが来校し、被災地に向けて作った応援ソング「明日という名の種をまけ」などを90名の生徒と一緒に合唱しました。
感謝!!



震災復興支援

10月6日 木保ト

山梨県出身の在日韓国人二世で、日本で活動するロックボカリストの木保ト(10月6日)さんが来町し、能登半島地震を被災した穴水町を応援するコンサートを開催します。

日時 10月6日(日)
14:30 開場
15:00 開演
17:00 終演
会場 穴水町交流館
1016-1階

主催 NGO 国境なき災害支援隊
共催 教育相談室「あした塾」
後援 穴水町教育委員会
入場料は無料です。心からの賛賞と歌声を聴きに来て下さい。

出演 ボカリスト 木保ト
EP1 SASSY TOMO (セシ・トモ)
機材提供 ゆかりの音楽
後援者 10月6日

いろいろ情報や相談は「あけ塾」にお寄せください。5611151・5611152

仮設からの声 ③

教育相談室「あけ塾」は「給ぐ」を配布し住民の仮設住宅へ入居者の思いを聴いています。



（「あけ塾」の中の人と住民）

穴水町には全町で500戸以上の仮設住宅があり毎月2回ほどそれぞれ4～5日お話を聞いています。住民皆さんの期待に応えられたいです。可能な限りお話を聴き役場その他の方へ伝えられるよう頑張っています。

この「給ぐ」配布の活動には、これまでにも県外のボランティアさんの協力を得ています。また仮設（陸上競技場180戸）では、入居者の石原さんをはじめ、白藤さん、東さん、滑木さんなどに協力してもらっています。とてありがとうございます。(T)

解体が進まないと...

再建したいけど、住民の解体が進まない。これが終わらないと前に進めない。たんだん気が減ってきてくる。

街灯は残らない

仮設の周辺に街灯は残らないので暗いところがあります。入居者は「確か夜8時を過ぎれば外に出ることはないが、防犯上、心配だ。それか、柱の一本の事故起るとは危ない」という話をしています。



（X11インベカーの建物も解体されています）

解体した後、草は生えて

家屋の解体が終わった所に草はどんどん生えてきます。所々地主様も高齢で対応できずいたり、元々、空き屋であつた所は草の始末もできず、「私は再建したい、やはり解体したい、そのまゝに任せて、草の中の一軒ボツンと家があるように感じる」と心配する声。写真、二枚の花、左の写真



（解体したあと、しばらくするとこのようになります）

のよう風景が町のあちこちで出現するようになります。東日本大震災の時に同じことあり、住民からの要望で、自治体は対応出来ずという例があります。何に考える必要があります。

9月議会

9月議会の一般質問の様子は紙面の都台、次号（第81号・10月初め発行予定）に掲載します。

この非常時、議員の皆さんの町民への声援を待っています。